

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公表番号】特表2003-524032(P2003-524032A)

【公表日】平成15年8月12日(2003.8.12)

【出願番号】特願2001-558146(P2001-558146)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 K 9/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 J 5/18 C E R

C 08 J 5/18 C E Z

C 08 K 9/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】 a) 透明熱可塑性ポリマー、並びに

b) インジウム原子の2~30%がスズ原子により置き換えられている酸化インジウム、酸素原子の10~70%がフッ素原子により置き換えられている酸化インジウム、スズ原子の2~60%がアンチモン原子により置き換えられている酸化スズ、酸素原子の10~70%がフッ素原子により置き換えられている酸化スズ、亜鉛原子の1~30%がアルミニウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の2~30%がインジウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の2~30%がガリウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、ペロブスカイト、および組成: $A_x B O_{3-y}$

[式中、

$0.01 < x < 3$ 、

$0.001 < y < 1.5$ 、

$A = Ca, Sr, Ba, Al, In, Sn, Pb, Cu, Ag, Cd, Li, Na, K, Rb, Cs, La, Ce, Pr, Nd, Sm, Eu, Gd, Tb, Dy, Ho, Er, Tm, Yb, Lu, H$ または NH_4 、および

$B = W, Mo$ または Re]

を有する化合物からなる群から選ばれ、その平均粒度が200nm未満である酸化物粒子を含有し、

該酸化物粒子の表面が、ポリビニルアセタールにより、または一般式(I):

$SiR^1R^2R^3R^4(I)$

[式中、

$R^1 = 1 \sim 30$ 個のC原子を有するアルキル置換基、

$R^2 = 1 \sim 30$ 個のC原子を有するアルキル置換基または1~30個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI、

$R^3 = 1 \sim 30$ 個のC原子を有するアルキル置換基または1~30個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI、

$R^4 = 1 \sim 30$ 個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI)

で示される化合物により改質されている組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

(発明を実施するための形態)

それゆえ本発明は、

a) 透明熱可塑性ポリマー、並びに

b) インジウム原子の2~30%がスズ原子により置き換えられている酸化インジウム、酸素原子の10~70%がフッ素原子により置き換えられている酸化インジウム、スズ原子の2~60%がアンチモン原子により置き換えられている酸化スズ、酸素原子の10~70%がフッ素原子により置き換えられている酸化スズ、亜鉛原子の1~30%がアルミニウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の2~30%がインジウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の2~30%がガリウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、ペロブスカイト、および組成： $A_x B O_{3-y}$

[式中、

$0.01 < x < 3$ 、好ましくは $0.1 < x < 1$ 、

$0.001 < y < 1.5$ 、好ましくは $0.1 < y < 0.5$ 、

$A = Ca, Sr, Ba, Al, In, Sn, Pb, Cu, Ag, Cd, Li, Na, K, Rb, Cs, La, Ce, Pr, Nd, Sm, Eu, Gd, Tb, Dy, Ho, Er, Tm, Yb, Lu, H$ または NH_4 、

$B = W, Mo$ または Re]

を有する化合物からなる群から選ばれ、その平均粒度(超遠心分離により測定)が200nm未満である酸化物粒子

を含有し、

該酸化物粒子の表面が、ポリビニルアセタールにより、または一般式(I)：

$SiR^1R^2R^3R^4$ (I)

[式中、

$R^1 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは6~20個、特に好ましくは12~18個のC原子を有するアルキル置換基、

$R^2 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは1~18個、特に好ましくは1~6個のC原子を有するアルキル置換基、または1~30個、好ましくは1~6個、特に好ましくは1~2個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI、

$R^3 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは1~18個、特に好ましくは1~6個のC原子を有するアルキル置換基、または1~30個、好ましくは1~6個、特に好ましくは1~2個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI、

$R^4 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは1~6個、特に好ましくは1~2個のC原子を有するアルコキシ置換基または C_1, Br 若しくはI)

で示される化合物により改質されており、

酸化物粒子が、透明熱可塑性ポリマー100質量部につき、好ましくは0.01~30質量部、特に好ましくは0.1~2部の量で存在する組成物を提供する。